

令和5年度第1回滋賀県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和5年7月6日（木）15：00～17：00
- 2 開催場所 滋賀職業能力開発促進センター5号室（大津市光が丘町3-13）
- 3 協議内容
 - イ 令和4年度事業実施結果について
 - ロ 令和5年度事業実施計画及び事業実施状況について
 - ハ 令和5年度第1回滋賀職業能力開発短期大学校部会の報告について

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明の後、意見交換が行われた。
委員からの主な意見は以下のとおり。

（学卒者訓練について）

- ・ 進路決定率や就職率が11年連続して100%は評価できる。100%という数字は簡単に達成できるものではない。ものづくり分野への就業意識を高める指導の結果だと考える。
- ・ 令和4年度、令和5年度と応募倍率の低下が続いているが、要因を踏まえて対策を講じていくことが大切である。また、工業高校からの入校や女子学生の割合が増えることを期待する。

（離職者訓練について）

- ・ 定員充足率向上の取組の一つとして、高い就職率をアピールしていくと良い。一方で、採用企業としては訓練終了時の技術レベルや職場定着率も重要になるので、そうした点にも留意が必要である。

（在職者訓練について）

- ・ 受講事業所の企業規模別内訳の把握に当たり、企業規模をより細分化して把握・分析することで、企業規模に応じた効果的なアプローチにつながるのではないか。

（募集活動について）

- ・ 定員充足率や応募倍率を継続して確保するためには、ものづくり分野に関心のある人材を増やしていくことが重要である。
- ・ 公立大学や関係団体においても小中学生に対してものづくりの魅力を伝える取組や女子学生に対して理系全般に関心をもってもらう取組を行っているので、ポリテクセンター滋賀、滋賀職能大にも連携して取り組んでほしい。

○滋賀県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	南川 久人(会長)	滋賀県立大学 工学部教授
	大杉 成聖	びわ湖放送株式会社 常務取締役
	長良 秀昭	滋賀県専修学校各種学校連合会 会長
労働者代表 (1名)	西村 和美	日本労働組合総連合会連合滋賀女性委員会 委員
中小企業等代表 (4名)	川西 民雄	一般社団法人滋賀経済産業協会 専務理事
	廣瀬 年昭	滋賀県商工会議所連合会 専務理事
	石河 康久	滋賀県商工会連合会 専務理事
	山田 俊明	滋賀県中小企業団体中央会 事務局長
行政機関 (4名)	木藤 邦俊	滋賀労働局職業安定部長
	菊池 克博	滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課長
	若林 久人	大津公共職業安定所長
	山極 義廣	滋賀県職業能力開発協会 会長